

ワークショップNO.3

「社協と住民と地域包括支援センターとの協働」



活動報告者 上井 貴司
(所属:綾川町社会福祉協議会)

アドバイザー 國光 登志子
安部 美枝子

地域担当者

複写禁

日本地域福祉研究所作成

参加者状況



1. ワークショップ会場

綾川町綾南農村改善センター

2. 参加者

セミナー参加者 県外25名 地元住民(民生児童委員9名・介護予防サポーター16名)

綾川町包括支援センター5名 綾川町健康福祉課保健師1名

スクールソーシャルワーカー1名 綾川社協職員12名

日本地域福祉研究所作成

複写禁

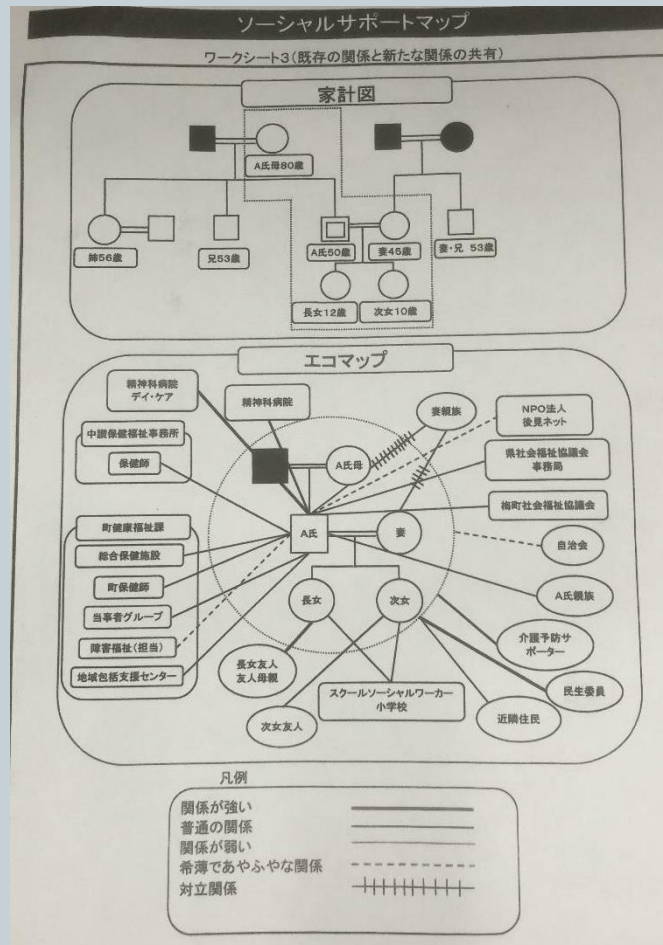
目 的

精神障がい(統合失調症)を持つA氏とその家族が、複合的な生活課題を抱えている状況の中、地域で安心して暮らし続けるためにはどうしたら良いか。また、個別の事例に対応するだけでなく、関わった事例を通じて地域全体の課題を把握し、参加者の皆様と一緒に地域で支えあうネットワークの構築を検討する。

日本地域福祉研究所作成

●
複写禁

A氏家族が地域で安心して暮らし続けるためには



展開方法



1 活動報告

綾川町の取り組みから学ぶ

- ① 支えあいネットワークづくり
- ② 地域とつながる地域担当制のしくみ
- ③ 介護予防サポーターの活動
- ④ 訪問介護の現状と課題

展開方法



2 事例報告

綾川町の事例から学びを深める

ワーク①個別アセスメント:個人の抱える課題、ストレングスの洗いだし

ワーク②地域アセスメント:地域にある既存の社会資源(フォーマル・インフォーマル)の活用と新たな社会資源の開発

ワーク③ソーシャルサポートマップの共有

:既存の関係と新たな関係の共有

ワーク④プランニング:地域福祉実践をすすめるために

ワーク⑤ポスターセッション

3 ふりかえりとまとめ

結 果 (1)



1「地域包括ケアの輪・話・和」～支え合いネットワークづくりをめざして～

「まなびあい」からまちかどほっと歓事業へ

【報告者】

綾川町健康福祉課 地域包括支援センター 社会福祉士 増田 玲子 氏

2 つながるんジャー事業～地域とつながる地域担当制のしくみ～

【報告者】

綾川町社会福祉協議会 社会福祉士 吉村 夫美子
昭和地区リーダー 渡辺 史彦
西分・羽床上・牛川地区リーダー 三好 留美

3 介護予防サポーター活動紹介

【報告者】

綾川町健康福祉課 地域包括支援センター 保健師 篠岡 有雅 氏

綾川町介護予防サポーターの会 会長 高山 佳子 氏 他

4 訪問看護の現状と課題～精神障害をもつ利用者が地域で暮らし続けるために～

【報告者】

訪問看護ステーションこくぶ所長 安部 美枝子 氏



結 果 (2)



- 新たな資源開発

実践のテーマ

A氏さん妻の食事を中心とした家事支援

- 支援目標

個別ニーズ→近所付き合い、収入にあった生活

安定した生活、居場所作り

地域ニーズ→地域とのつながり、家事支援サポート食育、声掛け

連携したい機関人々→民生委員、栄養士、病院、学校



今後の実践内容、役割分担

親子料理教室、簡単な料理の指導、交流する場所の提供、空き家を利用した地域活動

料理サポーターの発掘、清掃サポーター、PTA、企業

実践するために資金調達⇒共同募金の活用等

考 察



①個別アセスメント

個人の課題: 金銭管理の指導、家事の指導

ストレングス: パート勤務、民生委員とのつながり

②地域アセスメント

地域のストレングス: 近所付き合いはうまくいっている

既存の社会資源: 家計相談の活用、介護予防サポーター、民生委員

開発したい社会資源: 地域での家事援助の支援ボランティアの
養成プランニング

③プランニング

地域福祉実践をすすめるために

既存のサービスにつなぐ(成年後見人、介護保険(介護認定)、SSW、
民生委員

開発したいサービス

自治会での料理教室: 生活スキル、居場所づくり、地域の人とのつながり

フィールドワークの様子



ワークの様子

